

北海道子どもかるた大会実施要領

1 運 営

- (1) 北海道子どもかるた大会に出場するチームからは、大会運営のため審判を必ず出していただくこととする。なお、監督が審判を兼ねてもよい。
(申込みの時点に名前を登録していただく)。
- (2) 本大会出場メンバーは地区大会と同一であること。
- (3) 試合場内には審判、選手以外は立ち入ることはできない。
- (4) 試合場には敷きもの、飲み物（蓋付のもの）、タオル以外は持ち込まない。
- (5) 故意に試合を遅延させるような行為があった場合は審判の判断で負けを宣することができる。
- (6) 小学生チームは小学生のみとする。中学生チームは原則として中学生とするが事情により編成ができない場合は市町村子連会長の申請により控えの選手として小学生を認める。但し、1試合に出場できるのは1人とする。
- (7) 自分の競技が終了しても、他のチームが試合をしている場合は席を立たず、試合の終了を静かに待つか、審判の指示に従うこと。
- (8) 試合が終了したら各チームは使用札をまとめ、シートの上に置く。
- (9) 応援は指定された場所以外では禁止する。
- (10) 応援席から競技中に指示をすることは禁止とする。同様に、大人の指示によりなされた選手の申し立ては無効とする。
- (11) 読み手が読んでいる間の会場への出入りは禁止する。
- (12) 競技会場及びその周辺は禁煙とする。

2 持 ち 札

- (1) 3人1組で50枚とする。左右に審判が各1名つくこと。
- (2) 突き、中堅、守備ともに持ち札は5枚以上とする。ただし、突き、中堅の持ち札は15枚を越えてはならない。
- (3) 持ち札の総数が14枚になった場合は、1人3枚以上自由とする。
- (4) 持ち札の総数が8枚になった場合は1人1枚以上自由とする。
- (5) 持ち札の総数が2枚になった場合は1人が抜けて双方とも2人とする。
- (6) 持ち札の総数が1枚になった場合は1人になり相手は何枚あっても向かい合わせとする。
- (7) 持ち札が1枚の場合は上段中央、2枚の場合は中段以上とし、幅は50cm以内とする。

3 競 技

- (1) 双方が並べ終わったら、「お願いします」と挨拶をする。
- (2) 札の並べ方は3段までとし、必ず定められた位置に取り札を置くこと。
- (3) 取り札以外の札で、取り札が動いた場合は、死に札となり「流し」とし、相対する選手以外で起きたお手つきは無効とする。
- (4) 2枚ある自重札について、カバーをして取った場合は無効とする。
- (5) 「早い・遅い」お手つきが「あった・ない」等の場合は当事者が話し合いをし、決まらない場合は、審判の判定によって決める。ただし、審判の指示をおおぐ場合は双方が同意した上でなければ認められない。また、相対する選手以外の抗議は受け付けない。なお、話し合いが長引く場合は試合の進行上、当事者からの申し出がなくとも、審判の判断で判定する。

附 則 この実施要領は平成22年12月1日より施行する

附 則 この実施要領は平成23年12月1日より施行する